

災害用備蓄品交換に伴い食料品を寄贈

～サステナビリティ取り組み・東京都「チームもったいない」の取り組みへの参画～

2018年9月10日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉恭三)は、災害用備蓄品の交換に伴い、2018年9月6日に恵比寿本社および都内主要ビルに保管している食料品を、セカンドハーベスト・ジャパン(認定NPO法人 以下、2HJ)に寄贈しました。

1. 背景

当社は2018年度より、広報部内に「サステナビリティ推進室」を設置し、「誰もが安心・安全に暮らせる地域・社会づくり」をサステナビリティ取り組み方針の1つとして掲げ、地域社会の活性化と持続可能な発展を支援しています。東日本大震災以降は、様々な災害に対応するため、災害用備蓄品の増強を実施しています。

また今年、東京都環境局が創設した「チームもったいない」にも法人として参加し、循環型社会の構築を目指す企業として、東京都の目指す食品ロスの削減等にも取り組んでいます。

2. 寄贈内容

今般、当社のサステナビリティ取り組みと「チームもったいない」の活動の一環として、当社の2018年度災害用備蓄品の交換において、賞味期限が短くなった食料品5,300食分を「本来食べられるのに廃棄される食品・食材である食品ロスを活用して食の支援」に取り組む、日本初のフードバンク2HJに寄贈しました。

3. 今後について

寄贈した備蓄品は、児童養護・母子家庭・障害者支援等の福祉施設等、さまざまな理由でお困りの方々へ配付され有効に活用されます。

当社は今後も各業務を通じて、こうした社会における諸課題に対し積極的に取り組んでいきます。



備蓄品贈呈の様子(左から)総務部長 兵藤郁子・2HJ CEO マクジルトン・チャールズ氏

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs(持続可能な開発目標)を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



主に貢献しているSDGs目標

